

山口県の中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE YAMAGUCHI PREF.

山口県中小企業団体中央会

3

2020
Mar

Vol.743



表紙写真：ライフスタイル協同組合（WITTYメッセ）

特集 補助金申請の電子化について

- 中央会役員インタビュー ……理事 守友 誠 氏（山口県中小企業団体中央会青年部）
- 組合TOPICS
- 先進組合事例紹介 …… 協同組合下関造園クラブ
- 山口県の逸品 …… 企業組合志舞

特集 補助金申請の電子化について

2020年より補助金申請の手続きに、電子申請システム「Jグランツ」が導入されます！

「電子申請」とは、インターネットを利用して申請・届出をする方法です。

経済産業省の補助金では、2019年度補正、2020年度当初予算で27補助金が対象となります（ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金、小規模事業者持続化補助金、事業承継補助金など）。

また、経済産業省の補助金だけではなく、各省や自治体の補助金にも、随時拡大をしていきます。

電子申請のメリット

- 24時間365日、いつでも申請が可能です。
- 自宅や職場など、どこからでも申請が可能です。
- 移動時間や交通費、郵送費などのコスト削減が期待できます。
- 書類の押印が不要になります。

電子申請にあたっては**G BizID【gBizプライム】**の取得が必要です。ものづくり補助金など電子申請のみ受付の補助金もありますので、早めのご準備をオススメします。

「G BizID」のご利用方法

Step 1 「G BizID」のアカウント取得

今でも取得できます！

<手続き方法>

1. 「G BizID」のホームページから「gBizIDプライム作成」のボタンをクリックして、申請書を作成・ダウンロード



「G BizID」には、2種類のアカウントがありますが、補助金申請の手続きには、「gBizIDプライム」のアカウントが必要です。

2. 必要事項を入力して、作成した申請書と印鑑証明書を「G BizID運用センター」に郵送
3. 申請が承認されると、メールが送られてきます（審査に2週間程度要します。）
4. メールに記載されたURLをクリックして、パスワードを設定したら手続き完了！

Step 2 補助金申請システム(Jグランツ)へのログイン

取得した「G BizID」を用いて、Jグランツへログインすることで、補助金の電子申請が実施できます。

- Jグランツのトップページ(<https://jgrants.go.jp>)を開き、画面右上の「ログイン」ボタンを押下します。



- 「G BizIDでログイン」ボタンを押下し、Step 1で取得したアカウントID、パスワードを入力後に「ログイン」ボタンを押下します。



お問合せ 「G BizID」 ヘルプデスク06-6225-7877 受付時間：平日午前9時～午後5時



中央会役員インタビュー



山口県中小企業団体中央会
理事 守友 誠 氏
(山口県中小企業団体中央会青年部 会長)

山口県電気工事工業組合 所属
株式会社上関電業社 代表取締役

■青年部について教えてください

中央会青年部は、昭和53年に設立した山口県中小企業団体青年部協議会を引継ぎ、平成4年7月に発足しました。中小企業並びに組合の次代を担う後継者の育成を目指しており、青年層の力を結集し、中小企業の組織化、組合青年部活動等を積極的に推進し、中小企業の振興に寄与することを目的としています。研修会や交流会、県大会の開催や、情報提供事業、福利厚生事業など多岐に亘る事業を実施しています。

■趣味や好きな言葉、座右の銘などを教えてください

趣味はゴルフです。人間関係を一番に重んじており、「人として」してはいけないこと、「人として」しなくてはならないことなど人としてどうあるべきか、ということを大切にしています。また、「二兎を追って二兎とも得よ」を家訓としており、これは、二兎とも得るために人の2倍努力する、ということを表しています。

〈組合概要〉

山口県中小企業団体中央会青年部

住 所 山口市中央4丁目5番16号

TEL 083-922-2606

視察の受け入れを行う

企業組合小行司健康グループ
企業組合うずしお母さんの店
企業組合工房HaHa

1月29日(水)、30日(木)の2日間、高知県の「道の駅四万十大正」を経営するグループが法人化を検討するにあたり、先進的に活動されている企業組合を視察するため山口県を訪れ、企業組合小行司健康グループ、企業組合うずしお母さんの店、企業組合工房HaHaの3組合が視察の受け入れを行いました。

各々の組合から、法人化した経緯や活動内容、今後の展開などについてお話があり、工房など施設の見学もあわせて実施しました。「道の駅四万十大正」からは、経営体制や企業組合として活動していく上で苦労した点、なぜ企業組合を選択したのかなど質問が飛び交い、真剣な様子でお話を伺っていました。
(連携支援第一課 竹中)



企業組合小行司健康グループ
河村理事長



企業組合うずしお母さんの店
中本専務理事(左) 宇野理事長(右)



企業組合工房HaHa
山本理事長

岩国れんこん料理教室を開催

企業組合岩国尾津っこ

1月20日(月)、「JAファーマーズマーケットfam'sキッチンいわくに」にて、岩国れんこんを使った料理教室が開催され、同組合の石飛理事長と友田氏が講師を務めました。

当日は、部位別のおすすめ調理法や栄養など岩国れんこんについて説明をし、fam'sキッチンで販売されているパンを活用した蓮根ハンバーグドッグや蓮根コロケ、蓮根と季節のサラダ、蓮根スープなど蓮根をたっぷり使った料理を作りました。

当日は14名の参加者があり、楽しそうな様子で一生懸命調理に取り組んでいました。
(連携支援第二課 花田)



「WITTYメッセ」盛大に開催される

ライフスタイル協同組合

1月24日(金)、山口市の山口グランドホテルにて、「WITTYメッセ」が開催されました。このイベントは、女性創業セミナー「WITTY」修了生のこれまでの成果の披露や企業とのマッチングなどを目的に開催され、修了生の他、企業、金融機関、支援機関など100名を超える多くの参加者が集いました。



当日は、修了生による自身の事業についてのプレゼンテーションや作品の展示、企業別ブースでの商談などが行われ、修了生と企業等をつなぐビジネスメッセは大いに盛り上がりました。

その後、修了生が作った料理が楽しめる懇親会が開催され、さらに交流を深めました。
(連携支援第一課 竹中)



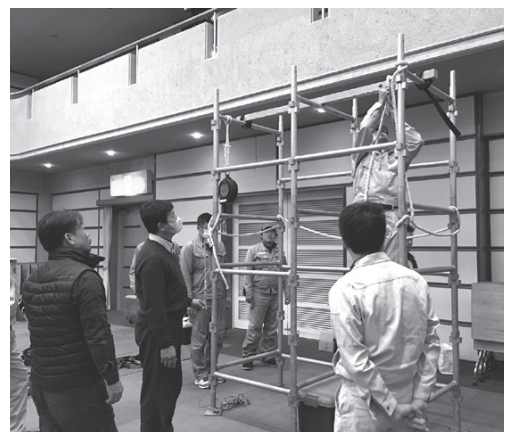
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育

山口県電気工事工業組合

1月29日(水)、同組合山口支部では、山口市湯田温泉「カリエンテ山口」にて建設業労働災害防止協会山口県支部の落合博彦事務局長を講師にフルハーネス型安全帯使用作業特別教育講習を開催しました。

高所作業での墜落・転落をより確実に防止するため、フルハーネス型安全帯使用が義務付けられました。作業する高さに応じた適切な器具の選択や使用法の研修、購入に対する助成制度などの解説があり、受講者40名が学びました。

(連携支援第一課 前田)



働き方改革への取り組みについて学ぶ

山口県生コンクリート協同組合連合会

2月4日(火)、山口市小郡の組合会館会議室にて、オーナー向け意識啓発セミナーを開催しました。本セミナーは業界が直面する課題等にスポットをあて毎年開催しているもので、18回目となる今回のセミナーでは「働き方改革の実務対応」をテーマに特定社会保険労務士の桑原亨氏より講話がありました。

昨年4月より、働き方改革関連法が施行され、「年5日の年次有給休暇の付与」の義務化や来年度からの「時間外労働の上限規制」など新たな対応が必要となることから、それぞれ具体的な対応方法などについて学びました。

受講者からは「働き方改革はイコール生産性の向上であることがわかった」といった感想が聞かれたほか、セミナー終了後も講師に熱心に質問をされる姿が見受けられました。

(連携支援第二課 小倉)



「まちなか創業応援プラザ」を開催

山口県商店街振興組合連合会

2月4日(火)、山口市のホテルニュータナカにて、「まちなか創業応援プラザ」を開催しました。このセミナーは、空き店舗を活用した創業を応援するため、県内外で活躍されている創業者の体験談から創業・経営ノウハウなどを学ぶことを目的としており、山口風月堂 若女将 渡邊さち子氏、徳地和紙ワークス 代表 船瀬春香氏、office WA 渡邊ちい子氏の3名を講師にお招きしました。



この3名はいずれも首都圏から山口県に移住しており、県外の人だからこそ分かる山口県の魅力や事業の取り組み内容、どういった想いで活動しているかなどを熱く語っていただきました。その後、コーディネーターにライフスタイル協同組合 代表理事 船崎美智子氏をお招きしてそれぞれの取り組み等について深掘りするパネルディスカッションを実施しました。

参加者からは、「創業しようと思っているので勇気をもらえた」など感想があり、創業意欲の高まる会となりました。

(連携支援第二課 花田)



今回は、Jim Collins著「ビジョナリー・カンパニー2 飛躍の法則」を読んで学んだことを紹介させていただきます。

この書籍では、偉大な成長を遂げた企業と良い企業にとどまった企業を様々な点で比較して、その中で偉大な成長を遂げた企業が持っていた特徴を解説しています。その特徴は、①第五水準の指導者②最初に人を選び、その後に目標を選ぶ③厳しい現実を直視する

④ハリネズミの概念⑤規律の文化の5点であるというものです。

この中で私が興味深いと思った点は、「②最初に人を選び、その後に目標を選ぶ」「⑤規律の文化」の部分でした。人を選ぶ基準というの、「優秀な人材」ではなく「適切な人材」という表現が使われていました。この「適切な人材」というのは、一般的に採用基準として使われている知能やメンタル、コミュニケーション能力を指しているのではなく、企業の基本的価値観に合致している人のことを指しています。このような人材は、採用後の動機づけや管理にコストがかからず、それらの人が集まり活動することで目標もおのずと決まっていくというものです。また、規律の文化においては、人材を管理するためのルールを多く設けるのではなく、「みずから規律を守り、規律ある行動をとり、自社が飛躍するために必要な部分に熱狂的に取り組める企業文化を作り上げること」となるとしています。

企業の基本的価値観を醸成するためには、日頃から意識的な取り組みが必要だと思えます。この機会に、自社の大切にしている価値観について考えてみられるのも良いと思えます。

先進組合事例紹介

全国中小企業団体中央会では、中小企業・小規模事業者や組合等連携組織が、新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考となるよう、知識や経験・ノウハウの移転・活用につなげることを目的に、課題解決等に先進的に取り組む組合活動事例について調査・分析、収集・普及を行っています。

今年度は山口県から、協同組合下関造園クラブと萩酒米みがき協同組合の2つの事例が紹介されます。このうち、今回は、協同組合下関造園クラブの事例をご紹介します。

協同組合下関造園クラブ

都市緑化で社会貢献、地域活性化を目指す技術者集団

住 所 〒752-0931 山口県下関市松小田本町 8 番31号
電話番号 083-250-5231 理事長 森 和義

■緑豊かな都市づくり活動

組合設立以来、「緑は人の心に安らぎ・優しさ・豊かさをもたらす」を念頭に、緑を造り、育てることを通じて、豊かな景観・環境を創り、都市環境づくりの一翼を担って活動を続けている。組合員企業の従業員のスキルを頼りに、緑に関する活動であれば率先して組合が取り組むこととした。

下関市緑化祭、火の山公園トルコチューリップ園の整備、下関市の姉妹都市であるイスタンブールの日本庭園の建設等、組合理事長を中心にそれぞれ役割分担を定め、若手造園士を中心に後継者育成も兼ねた緑の社会貢献を継続している。この社会貢献活動は、下関市との連携が非常に重要で、官民一体となった体制づくりに非常に苦労している。

これからも引き続き、様々なケースで緑化による下関市の活性化につながる活動を続けていく。このためにも、組合の財政基盤の構築と市の援助体制がポイントとなっていく。また、若手の造園技術のスキルアップについても、現在の執行部が中心となり、企業単独ではなく組合ぐるみで資質向上を目指している。

■活動の成果

造園（都市緑化）に特化した社会貢献により「下関市は花と緑」のイメージが定着し、これにより現在下関市が推進しているインバウンドの推進に更なる成果が期待されている。海外の観光客や豪華客船の寄港が毎年順調に右肩上がりに増加しているなか、官民一体の観光都市に向けた取り組みの一翼を担っている。



Point 造園という花や緑の専門家として、地元へ貢献することをワンチームで行っている。組合と行政や専門家との積極的な連携により、観光地下関の景観美化を実現した。



トルコ・イスタンブールの日本庭園前で

月次景況調査結果

令和2年1月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業種別の景況

	業 種	前年同月比	前月比
製 造 業	食 料 品	☁️	→
	織 維 工 業	☁️	↗
	木 材・木 製 品	☁️	→
	印 刷	☔	→
	窯 業・土 石 製 品	☔	↘
	一 般 機 器	☔	→
	輸 送 機 器	☁️	→
非 製 造 業	卸 売 業	☔	→
	小 売 業	☔	↘
	商 店 街	☔	→
	サ ー ビ ス 業	☔	↘
	建 設 業	☁️	↘
	運 輸 業	☔	↗
	そ の 他	☁️	→

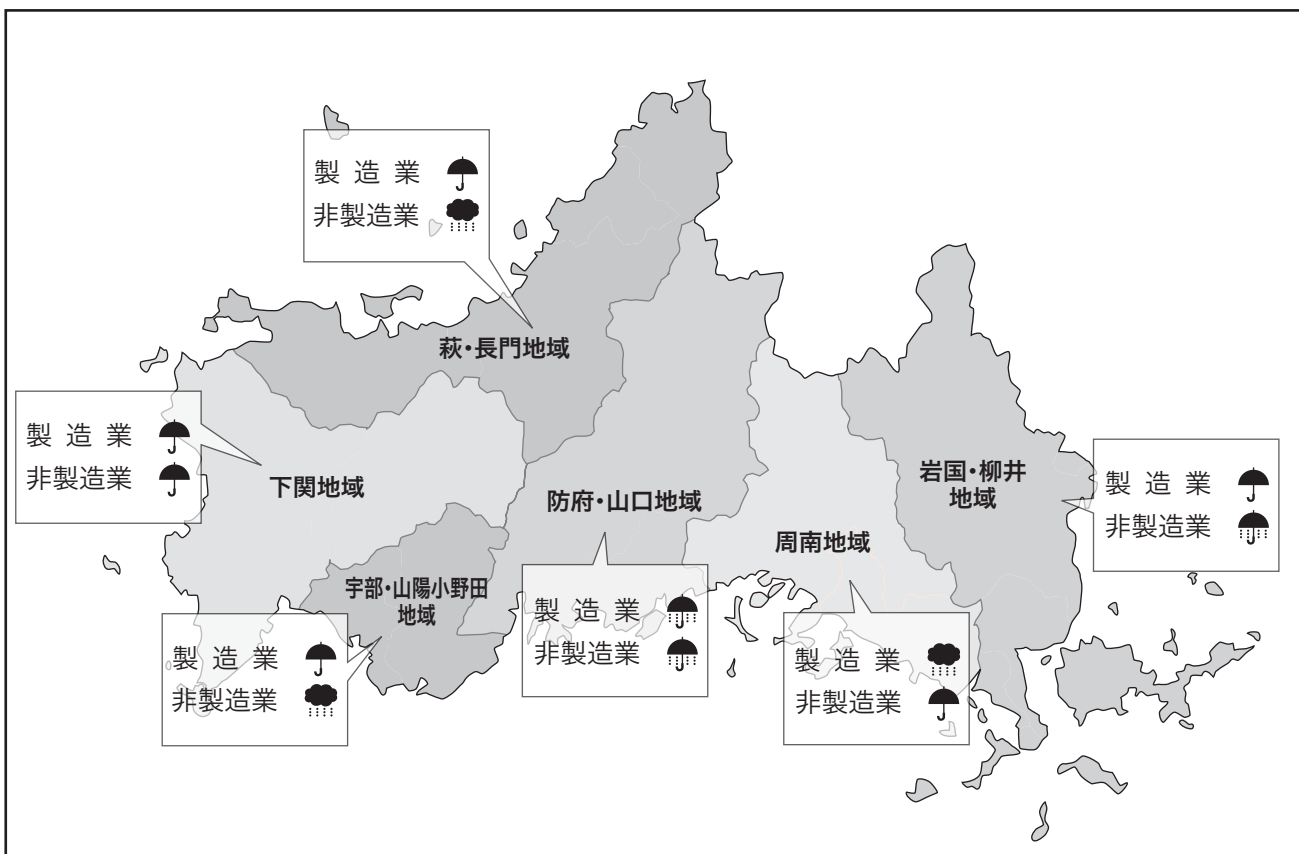
令和2年1月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が2業種、前年同等が8業種、悪化が4業種で、全体の景況感DI値も令和元年12月より悪化している。

繊維工業、運輸業では、受注量も多く忙しいとの報告であるが、小売業からは、暖冬の影響により季節商品の販売が不振であった、また、サービス業では、新型肺炎の影響が出始めたとの報告である。

山口県の中小企業は、深刻な人手不足が続いており、人材確保に苦労している。また、消費増税による消費の低迷や新型肺炎の影響を心配している。

DI値

30以上	☀️	-30以上-10未満	☁️
10以上30未満	☁️	-50以上-30未満	☔
-10以上10未満	☁️	-50未満	☔



情報連絡員報告

令和2年1月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製	食料品	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年始の休暇が長く気候も穏やかであったので販売は堅調だが、働き方改革等により休日の雇用確保が一層難しくなっている。(パン・菓子製造業) ○ 年末年始の連休明けからは反動で売上が低迷。キャッシュレス5%還元の特典を積極的にしているが、利用率は物販で10%、飲食で25%程度。(水産食料品製造業) ○ 記録的な暖冬により、野菜価格が下落し経営を圧迫している。(精穀・製粉業)
	繊維工業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末に向けて受注が増加。2月、3月の生産はキャパオーバーに近い状態であり、4月以降の引き合いもある。(外衣・シャツ製造業 萩市) ○ 実習生・従業員の健康は特に配慮している。(外衣・シャツ製造業 山陽小野田市)
	木材・木製品	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費増税の影響による売上減が感じられる。輸送費高騰により地方がより不利になっている。(製材業・木製品製造業)
造	印刷	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受注物件が減り、売上も大幅に減った。(山口市) ○ 1月は閑散期であるが、前年並みの受注量は確保できている模様。(下関市)
	窯業・土石製品	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出荷量が激減している。(砕石製造業) ○ 資材調達に問題なく、生コンの販売価格は安定している。(生コンクリート製造業) ○ 暖冬により工期の遅れ等はないが、仕事量が減ってきている。(石工品製造業) ○ ギフト・卸関係・百貨店の受注も昨年よりやや減少。(陶磁器・同関連製品製造業)
	一般機器	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年と違い仕事があるが、外注費が高騰の模様。(下松市) ○ 自動車は中国の景気動向に左右される。コロナウイルスの影響で生産の停滞や他の経済活動にブレーキがかかりつつあるのが心配。(防府市) ○ 中堅企業においても人材の確保に苦慮している。(宇部市)
業	輸送機器	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両は、北陸新幹線の水没車両生産が加わるため増産態勢だが、短納期の仕事が多いため仕事の引き受けが出来ない組合員もいる。今は忙しいが、2～3年先の見通しが不透明なため大規模な設備投資が難しい状況。(鉄道車両・同部品製造業)
	卸売業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 魚の入荷が少なく、単価もなかなか下がらない。(生鮮・魚介卸売業) ○ 燃料価格が上昇傾向で配送コストに影響。例年より海水温が高いため海苔の成長が早いらしく、2月～3月の資金調達に影響。(各種商品卸売業 山口市) ○ 原材料値上げと消費増税による顧客離れを防ぐため、ニーズに応える試行錯誤の状況。若手従業員の確保、高齢者の就労促進をしている。(各種商品卸売業 下関市)
	小売業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 暖冬の影響か、暖房器の販売不振。(機械器具小売業) ○ 暖冬の影響で、クリームや美容液などの高額化粧品が売れない。(化粧品小売業) ○ 年明けからバーゲンを実施するも、消費全体が活気付かない。小売業の28(ニッパチ)はヒマと言うが、近年では1月も低迷している。(各種商品小売業 岩国市) ○ 暖冬とは言うものの、人出は激減している。(各種商品小売業 下関市)
非	商店街	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年同様、人出が極めて少ない。商業での活性化は難しいと痛感する。(宇部市) ○ 商店主は、「このままだと閉店か借金が増える」、「何が影響しているのか原因がわからない」、「現在のままではいけないと思うが対策が見いだせない」と話す。(萩市)
	サービス業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民法改正で、2022年4月1日より、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられるが、2023年成人式の着付けセットの予約が、もうすでに複数入っている。(美容業) ○ 寒さはあまり影響なかったが、インフルエンザ等でお客が遠のく。(理容業) ○ 「改正道路運送車両法」が4月1日に施行される。自動運転に対応できない、後継者がいない等で、整備工場が廃業する可能性があり大変気になる。(自動車整備業) ○ 新型コロナウイルスの影響が徐々に出張・旅行に出ている。2月はもっとありそう。(旅行業) ○ 1月は、新型コロナウイルスによる大きなキャンセル等は発生していない。(旅館業 下関市) ○ 近隣施設改修工事の休業や自動車道開通により利用者が増加。(旅館業 長門市)
	建設業	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 官公需・民需ともゼネコン・地元業者の受注競争が厳しく、専門工事業者の受注単価が下がりつつある。技能者不足で日曜、年末・年始の出勤もある。(左官業) ○ 仕事量は忙しいが、人手不足により工事ははかどらないでいる。(管工事業) ○ 求人若者の応募がなく、技術者の高齢化が進んでいる。(土木工事業)
業	運輸業	☔️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長距離急送品以外は船舶になり、中小運送業の経営は鈍化しつつある。“働き方改革”で運転手の給料が減少し、一層雇用が難しい。(一般貨物自動車運送業 下松市) ○ 仕事はあるが人員不足により断る状況もある。(一般貨物自動車運送業 宇部市) ○ タクシーチケットの取扱金額は、1/1-20分▲1.2%。(一般旅客自動車運送業)
	その他	☁️	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護以外(調理)職種の外国人実習生の実習も開始。慎重にすすめたい。(介護事業)

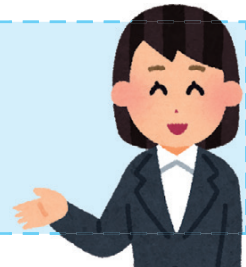
平成31年度空き店舗活用創業促進事業

あなたの創業を応援します

店舗活用創業応援センター

空き店舗活用創業応援センターでは、こんなことをしています

- 行政や商工会議所などの支援機関と連携し、創業までサポートします。
- 県内全域の空き店舗情報から、あなたに最適な物件をご紹介します。
- 先輩創業者の体験談が聞けるセミナーや、県内の空き店舗を見学できるバスツアーなどを開催しています。



最新の情報は、専用サイト「BE FOUND」をチェック!!

山口県商店街振興組合連合会

店舗活用創業応援センター

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号山口県商工会館（山口県中小企業団体中央会内）

☎ 083-922-2606 ✉ kenshinren@axis.or.jp

山口県で起業・創業を考えている人への
空き店舗情報サイト

山口県の食に関わる組合をご紹介します

企業組合志舞

山口市

くらともの一粒の夢

企業組合志舞は、美祢市秋芳地域の豊かな自然の中で育まれた農産物を直売するとともに、地域食材等の加工品の開発・製造販売を行うことを目的に設立されました。同地域で生産方法にこだわった米穀など農産物を生産しており、安心・安全にこだわった商品や手作りのお弁当、お菓子などを販売する店舗「結び家くらとも」の運営もしています。

今回は、そんな企業組合志舞の商品である「くらともの一粒の夢」を紹介します。

◆くらともの一粒の夢（無農薬米・特別栽培米）

くらともの水田は、カルスト台地で有名な国定公園、秋吉台の山すそにあり、お米はカルスト台地に含まれるカルシウムたっぷりの土壌と天然ミネラル成分がとけ込んだ湧き水で育っています。秋吉台は山間地にあるため、昼夜の寒暖差がとても大きく、粘土質の土壌で、とても味の良いお米が育ちます。

そんな環境でスクスクと育ったお米「くらともの一粒の夢」は、化学肥料・化学農薬を一切使っていない



無農薬米と、化学肥料は一切使用しておらず農薬は初期除草剤を一回だけ使用した90%以上削減の特別栽培米があり、「エコやまぐち農産物認証制度」を取得しています。こだわりの生産方法で作られており、お米のおいしさを改めて実感できます。

直売所「結び屋くらとも」では、お米はもちろん、化学農薬・化学肥料を使わず（もしくは減農薬で）育てたお米と野菜がふんだんに使われたお弁当や玄米粉のお菓子など、安心・安全にこだわった商品を販売していますので、ぜひご賞味ください。

組合名 企業組合志舞
理事長 倉重 智子
住所 山口市小郡黄金町3-2
TEL 083-902-5154

カガヤキ
2020
Mar
ビト



萩酒米みがき協同組合
事務局長 大田 直志さん

当組合は、萩阿武地域の酒造会社と酒米生産者を組合員として設立され、日本酒造りのための酒米の生産から醸造まで一元管理するため、酒米のとう精（米を削ること）工場を整備・運営しています。

大田さんは、元萩市職員で、定年退職後に萩市むつみ総合事務所の行政支援員となりました。行政支援の一環として当組合の事務局をされており、生産者と酒造会社の間に立ってWin-Winの関係を築き、農業所得の向上と萩の地酒の振興のために日々活動されています。

趣味は、音楽を聴くこと、お酒を飲むことだそうです。多忙で最近あまり趣味の時間が持てないとのこと。むつみ地域で有名は「ひまわりロード」や「菜の花畑」の手入れをほぼ一人でされています（写真は菜の花畑の一部です）。「皆さんが喜んでくれると自分もうれしい。だからいろいろと頑張れます」とお話をいただきました。

☆萩酒米みがき協同組合

理事長 山田 和男

〒758-0305 萩市吉部下2226-1 ☎08388-6-0570

編集後記

今月号もご愛読ありがとうございます。組合TOPICSでも掲載しました「WITTYメッセ」と「まちなか創業応援プラザ」に参加してきました。どちらにも女性の創業者が集まったイベントなのですが、とにかく皆さん想いの強さがすごい！自己実現、地域貢献など目的は様々あるかと思いますが、女性ならではの視点でやりたいことを実現されている姿に、たくさんパワーをもらった2日間でした。（連携支援第一課 竹中）

山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎083-922-2606 Fax 083-925-1860

HP <http://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社